

国語 二―二	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (歴史的かなづかい②)	名前	年	組	番
-----------	--	----	---	---	---

次の各短歌の―線部について、現代かなづかいにして、すべてひらがなで書きましょう。

例 花の色はうつりにけりないたづらに我が身世にふるながめせしまに
(うつりにけりないたづらに)

① わびぬれば今はた同じ難波なる身をつくしてもあはむとぞおもふ
()

② 天つ風雲の通ひ路吹きとぢよをとめのすがたしばしとどめむ
()

③ 陸奥のしのぶもちずり誰ゆゑにみだれそめにし我ならなくに
()

④ いにしへの奈良の都の八重桜けふこのへににほひぬるかな
()

⑤ 人もをし人も恨めし味気なく世を思ふゆゑにものおもふ身は
()